

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語 I B	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子システム工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	DUALSCOPE English Grammar in 36 Stages: 36 スコープ英文法 (数研出版),Workbook for DUALSCOPE English Grammar in 36 Stages スコープワーク36 (数研出版)						
担当教員	小倉 恵実						
到達目標							
① 高校英文法で必要最低限な要点を習得することができる。 ② ①で学んだ文法事項に基づき、自分の考えなどを英文で表現する能力を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要		自分の考えを英語で表現できる基礎的な能力を養う。また、英語表現に必要な文法や文構造の基礎知識の習得をめざす。					
授業の進め方・方法		定期試験は50分間の試験を実施する。中間試験は共通科目試験日に実施する。 定期試験の成績を60%, 小テストの成績などを20パーセント, 課題提出を10%、平常点を10%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
注意点		必ず予習をして授業に臨むこと。担当教員が随時ワークブックの提出を指示し、学習状況を確認する。語彙力を強化するために、毎回、小テストを実施する。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業についての説明, 必要な基礎知識について		
		2週	Lesson 1, 2		文の種類(1), (2)		
		3週	Lesson 3		文の組み立て(1)		
		4週	Lesson 4		文の組み立て(2)		
		5週	Lesson 5		時制(1)-1		
		6週	Lesson 6		時制(1)-2		
		7週	前期前半のまとめ		前期前半に行った各項目の確認・復習		
		8週	試験答案返却		前期中間試験答案返却		
	2ndQ	9週	Lesson 7		時制(2)-1 - 完了形1		
		10週	Lesson 8		時制(2)-1 - 完了形2		
		11週	Lesson 9		助動詞(1)		
		12週	Lesson 10		助動詞(2)		
		13週	Lesson 11		助動詞(3)		
		14週	前期後半のまとめ		前期後半に行った各項目の確認・復習		
		15週	試験答案返却		前期期末試験答案返却		
		16週					
後期	3rdQ	1週	前期内容理解度テスト		前期内容の理解度テスト		
		2週	Lesson 12		動詞の態(1)		
		3週	Lesson 13		動詞の態(2)		
		4週	Lesson 14		不定詞(1)		
		5週	Lesson 15		不定詞(2)		
		6週	Lesson 16		不定詞(3)		
		7週	Lesson 17		不定詞(4)		
		8週	後期前半のまとめ		後期前半に行った各項目の確認・復習		
	4thQ	9週	試験答案返却		後期中間試験答案返却		
		10週	Lesson 18		動名詞(1)		
		11週	Lesson 19		動名詞(2)		
		12週	Lesson 20		分詞(1)		
		13週	Lesson 21		分詞(2)		
		14週	Lesson 22		分詞(3)		
		15週	試験答案返却		後期期末試験答案返却		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	3	
				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	3	
				文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	3	
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。	3	
				鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	3	
				読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	3	
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	3	
				代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	3	
				古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	3	
				代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	3	
				教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	3	
				情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	3	
				他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想・思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	3	
				相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	3	
				社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	3	
		英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
評価割合						
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他
総合評価割合	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0